下呂温泉街サイン看板改修工事

公募型プロポーザル方式 提案書評価基準

１　評価項目及び評価点並びに評価基準（合計５０点）

ア **実施体制・業務遂行能力**

・本業務を確実に遂行できる人員配置、役割分担、連絡体制が確立されているか。

・履行期限（令和９年３月31日）に向け無理のない実施スケジュールが策定されているか。

・温泉街の狭小道路等における施工・作業員・通行人・車両の安全管理体制が十分か。

・過去５年間に国・地方公共団体におけるサイン整備・改修等の同種・類似実績を有するか。

イ **矢羽根看板改修・動線案内提案**

・現地調査に基づき、下呂温泉街（下呂駅、湯の街通り、足湯等）の観光動線を踏まえた案内体系の最適化・再整理がなされているか。

・看板ごとの誘導目的地の選定、優先順位づけ、配置計画に妥当性・有効性があるか。

・行政・地域が継続的に維持管理できる構造・仕様の工夫が提案されているか。

・観光客のおもてなし向上や周遊活性化に寄与する独自の視点・創意工夫があるか。

ウ　**デザイン性・景観調和・多言語対応**

・歩行者・ドライバーが目的地や位置関係を直感的に把握できる視認性・可読性に優れているか。

・多言語表記（日本語・英語）、JISピクトグラム、UDフォントに配慮されているか。

・下呂温泉街の情緒溢れる町並みや下呂市景観ガイドライン（アースカラー等）と調和しているか。

・温泉街全体でのデザインの一貫性・統一感が保たれているか。

エ **観光魅力度向上・コンテンツ提案**

・矢羽根看板の内容が下呂温泉の魅力・歴史・文化を効果的に伝える構成となっているか。

・外国人旅行者（インバウンド）にも分かりやすく滞在満足度を高めるコンテンツ工夫があるか。

オ **施工計画・不要看板撤去・経費の妥当性**

・既存支柱のケレン・再塗装、板面作り変えの施工方法が具体的で高品質・高耐候性（5年以上等）か。

・不要な矢羽根単体及び不要看板全体の安全な撤去解体・路面舗装復旧・産業廃棄物処理（マニフェスト）計画が確実か。

・見積金額（5,045千円以内）の内訳が明確であり、仕様書要件に対する費用対効果・妥当性が高いか。

２　採点方法及び業者特定方法

（１）上記の評価項目（5項目）に基づき、各委員がそれぞれ 10 点満点（合計 50 点満点）で採点を行う。

（２）委員全員の評価点の合計（委員３名の場合は150点満点）を算出し、総評価点が満点の６割（委員

3 名の場合は 90 点）以上の提案者を特定対象とする。複数の提案があった場合は、総評価点の最も高い者を優先交渉権者として特定する。

（3）採点集計は、企画競争委員会事務局が行うこととする。

（4）総評価点が同点となった場合は、見積金額の安価な者を優先交渉権者とする。見積金額も同額の場合は、くじ引きにより決定する。